

## 第46回 セルフケア事例検討会 レポート

平成30年9月1日(土) 13:00~16:30、飯塚病院より事例と会場をご提供いただき、セルフケア事例検討会を開催いたしました(参加者59名)。

今回は東京医科大学看護学部の小林信先生が主宰なさっている「精神看護ケア検討会」とコラボレーションすることとなり、県外からの参加者も多数ご参加下さりました。

事例検討会の前には小林信先生から「精神力動論から学ぶ心の仕組み」と題したテーマでレクチャーを実施していただきました。アンケートでは「精神力動についてユニークに学びました。こころの機能について細かく知ることによって根本にある問題への理解が進むのだと感じました。」「普段何気なく使っているセルフケア理論の根幹の一部である精神力動について学べて良かったです。」「精神力動論を活用して事例を分析すると“なるほど”と思う部分があり、その患者が何を求めているのかを勉強することが出来ました。」といった感想が寄せられました。

事例検討会では、参加者の方々からたくさんのご意見を頂き、「問題行動の背景とその意味合い」と「スタッフ含め他者との関係の持ち方」といった視点のもと患者理解が進み、「問題行動への対応だけではなく抱えているつらさに共感する姿勢の大切さ」「本人が良い状態の時こそ意図的にかかわりを設けること」「人とのつながりを実感できるような機会や場の提供の仕方」など実践的なケアについて考え合うことが出来ました。アンケートでは「なぜ問題行動を起こすのか、その行動の意味をきちんとアセスメントすることの大切さを改めて学ぶことができました。また、とても優しい事例検討会でほっこりしました。」「同じような事例に悩んでいました。とても参考になりました。」といった感想が多く寄せられました。

次回は平成30年11月3日(土) 10:00~16:00、福島県立医科大学8号館を会場(事例提供は県立矢吹病院)に開催いたします。詳しくは次回お知らせをご参照下さい。多数のご参加をお待ちしております。



懇親会も実施しました!

